

令和6年度学校評価の概要

山梨市立山梨南中学校

2月には、「学校評価」をするための生徒及び保護者アンケートをさせていただきました。その後、生徒・保護者アンケート集計も参考にしながら、教職員アンケートをしました。アンケート結果については、PTA・生徒活動後援会合同役員会及び学校運営協議会で提示させていただき、出席者からご意見を伺うことが出来ました。今回の学校評価をもとにして、学校長はR7年度の学校経営について重点目標と具体的努力点を設定していきます。また、本校教職員は、各学年や分掌での活動目標と具体策を作成していきます。以下は、アンケート集計を「肯定的な回答の割合が高い」項目と「肯定的な回答の割合が低い」項目に分けたものです。

(1) 知・徳・体の調和を重視し、「生きる力」を育む適切な教育課程の編成と実施／学習指導要領に基づいた指導計画の評価と改善の充実に努める。	
肯定的な回答の割合が高い	(1)-1 学校は、社会情勢や教育の今日的課題等を考慮する中で、各行事の精選や見直しを検討し、教育効果とのバランスを図り、適切な教育課程を編成している。77.39(保護者)/100.00(教職員) ※(1)-2 学習指導要領に基づいた、指導計画の評価と改善の充実に努めた。100.00(教職員) ※(1)-3 社会情勢や教育の今日的課題等を考慮する中で、各行事の精選や見直しを検討し、教育効果とのバランスを図り、適切な教育課程を編成した。100.00(教職員) (1)-2 日頃から校訓や学校の目標を意識しながら、「より良い山梨南中学校」を目指し取り組んでいる。91.36(1年) (1)-4 学校は、小学校で学習したことを踏まえて授業や活動を行なっている。95.06(1年)/94.23(2年)/89.01(3年)/55.78(保護者)/95.24(教職員) (1)-5 自分はグローバルな視点を持ち、英語力の向上に努力している。 ※(1)-7 「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」の4技能5領域の言語活動の実施による、生徒の英語力の向上を図った。また CAN-DO リストを基にした授業づくりを行った。90.48(教職員) (1)-6 自分の将来に夢や希望を持ち、自立した大人になるために必要となる力を付けるよう努力している。(1年:職業調べ 2年:職場体験・進路学習 3年:進路指導) 90.12(1年)/94.23(2年)/86.81(3年)/65.33(保護者)/100.00(教職員) ※(1)-6 学校で行われる職業調べや職場体験・進路学習・進路指導などは、我が子の将来の自立に役立っている。63.32(保護者) ※(1)-8 生徒の社会的自立の基礎を培うことを目指し、「山梨のキャリアパスポート」を活用した、体系的・系統的なキャリア教育の充実(1年:職業調べ 2年:職場体験・進路学習 3年:進路指導 等)を図った。100.00(教職員) (1)-7 先生と話をしたり相談したり触れ合う時間が十分にある。86.42(1年)/86.81(3年)/ 65.33(保護者) (1)-8 外部講師を招いた学習会などでは、世の中の課題について考えたり意識を深めている。(・1年:交通安全教育 2年:依存症・薬物乱用防止教育 3年:エイズ教育、租税教育、福祉講話など) 92.59(1年)/94.23(2年)/94.51(3年)/84.92(保護者)/95.24(教職員) (1)-9 学校は山梨市や地域の地理・歴史・文化・福祉等の特色を生かした教育活動を進めている。92.59(1年) 85.58(2年)/67.34(保護者)/100.00(教職員)
割合が低い	(1)-1 社会や生活の大きな変化を前向きに受け止め、人生をより豊かにしていくためにどうすべきか主体的に考えている。82.72(1年)/80.77(2年)/82.42(3年)/ (1)-2 日頃から校訓や学校の目標を意識しながら、「より良い山梨南中学校」を目指し取り組んでいる。84.62(2年)/83.52(3年)/ (1)-3 学校は、欠席した場合などの学びの保障に心掛け、工夫をしている。79.01(1年)/84.62(2年)/83.52(3年)/ 64.82(保護者)/71.43(教職員) (1)-5 自分はグローバルな視点を持ち、英語力の向上に努力している。76.54(1年)/73.08(2年)/76.92(3年) 51.26(保護者) (1)-7 先生と話をしたり相談したり触れ合う時間が十分にある。77.88(2年)/ 64.32(保護者) ※(1)-9 教員が生徒と向き合う時間を確保するため、多忙化解消の取組を積極的に進めた。57.14(教職員) (1)-9 学校は山梨市や地域の地理・歴史・文化・福祉等の特色を生かした教育活動を進めている。82.42(3年)
今後は	自身の人生を主体的に考え、将来に夢や希望を持ち、自立した大人を目指して努力している生徒が9割近くいて、生徒の成長が見られます。適切な教育課程が実施されていると言えます。外部講師等を招いた学習も効果的に生かされているので、次年度も積極的に推進していくことが求められます。CSの機能を十分に活用していくことを考えたいです。英語教育については、より積極的なアプローチが必要であると思います。座学では限界があるので、実際に体験できる機会をつくる必要があります。多忙化解消については、教育活動と教職員の学校業務のDXをさらに進める必要があります。ペーパーレスが進んでいるように、学習の成果として、業務の成果として、どこに何をどのような形で残すのかを、教職員で検討し、共通理解のもとに改善を図る必要があります。

(2) 確かな学力と自立する力の育成／「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善と評価に努める。	
肯定的な回答の割合が高い	(2)-1 先生たちは、楽しく魅力ある授業をしてくれるので、学習意欲がわき、学習内容もよく理解できる。85.19(1年) (2)-2 自ら学習課題や学習活動を選択する機会があり、生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促される場面が授業の中によくある。87.50(2年) ※(2)-1 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善と評価に努めた。95.24(教職員) ※(2)-2 自ら学習課題や学習活動を選択する機会を設けるなど、生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促される授業づくりに努めた。95.24(教職員) (2)-3 「話す」「聞く」「書く」「読む」ことを使って、記録や要約、説明、論述、話し合うなどの活動が授業の中によくある。91.36(1年)/98.08(2年)/95.60(3年)/65.83(保護者) /100.00(教職員) (2)-4 一人一台端末等のICT環境が日常的に活用され、充実した授業が行なわれている。91.36(1年)/95.19(2年)/78.89(保護者) /95.24(教職員) (2)-5 授業で学習した内容が単元や題材ごとに成果が評価され、自分自身に返ってきている。85.19(1年)/88.46(2年)/85.71(3年)/69.35(保護者) /100.00(教職員) (2)-6 自分のこととして学習する態度が身についていて、学習習慣が定着している。90.38(2年)100.00(教職員) (2)-8 自主学習ノートの取り組みは、自分にとって家庭学習の習慣化や学力向上に役立っている。87.65(1年)95.24(教職員) (2)-9「自学」学習時間の取り組みは、自分にとって効果があると思う。87.65(1年)
肯定的な回答の割合が低い	(2)-1 先生たちは、楽しく魅力ある授業をしてくれるので、学習意欲がわき、学習内容もよく理解できる。78.85(2年)/83.52(3年)/59.80(保護者) ※(2)-8 学校は、生徒一人一人の目標に応じて、学力向上ができるよう授業を工夫している。50.75(保護者) (2)-2 自ら学習課題や学習活動を選択する機会があり、生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促される場面が授業の中によくある。79.01(1年)/84.62(3年) (2)-4 一人一台端末等のICT環境が日常的に活用され、充実した授業が行なわれている。80.22(3年)/ (2)-6 自分のこととして学習する態度が身についていて、学習習慣が定着している。74.07(1年)/84.62(3年) (2)-7 あなたの学級は、授業規律が確立していて、みんな集中して授業を受けている。58.02(1年)/75.96(2年)/83.52(3年)/63.82(保護者) /100.00(教職員) (2)-8 自主学習ノートの取り組みは、自分にとって家庭学習の習慣化や学力向上に役立っている。65.38(2年)60.44(3年)/51.76(保護者) (2)-9「自学」学習時間の取り組みは、自分にとって効果があると思う。73.08(2年)/63.74(3年)/54.77(保護者)/76.19(教職員) (2)-10 全国学力・学習状況調査や県学力把握調査の課題などが、授業で生かされている。66.67(1年)/59.62(2年)/79.12(3年)/100.00(教職員) ※(2)-9 全国学力・学習状況調査や県学力把握調査の課題などについて、学校から説明があった。49.75(保護者) ※(2)-11 全国学力・学習状況調査や県学力把握調査の結果分析と改善策を共有した。/80.95(教職員)
今後は	「話す」「聞く」「書く」「読む」ことを使って、よく考え、自分で判断し、表現する活動が日常的に行われ、主体的で対話的な深い学びの実現が意識的に図られています。今年度リーディングDXの事業のおかげで、ICTの活用はもとより、個別最適な学習が進められるようになりました。学習意欲が向上し、基礎学力の定着も見られるので、さらなるICTの活用を進め、授業改善をすることが求められます。生成AIやプログラミングなど、ICT活用のメリットがより顕著な活動を展開していくことが求められます。家庭学習や自学については、今後も目的と内容、方法を確認した上で進めていく必要があります。学力調査の結果等のフィードバックについては、工夫改善する必要があります。残念ながら、学力調査が目的化しているのは否定できません。

(3)「豊かな心・しなやかな心」を育み、生徒の自己実現を図る力の育成／適切な生徒理解と居場所づくりに努めると共に、人権教育・道徳教育の充実に努める。	
肯定的な回答の割合が	(3)-1 学校は、自分の大切さや他の人の大切さを認められるような人権意識を培う教育活動を行っている。88.89(1年)/91.35(2年)/89.01(3年)/69.35(保護者)/90.48(教職員) (3)-2 学校は、ネット上のいじめ防止など、情報モラル教育を行っている。90.12(1年)/95.19(2年)100.00(教職員) (3)-3 学校はいじめや暴力行為がなく、安心して生活できる。90.38(2年)/94.51(3年)/71.36(保護者) (3)-4 学校には、誰にとっても居場所がある。87.65(1年)/93.27(2年)/100.00(教職員) (3)-5 先生方は生徒一人一人に丁寧に支援や相談をしてくれる。87.65(1年)/89.42(2年)/85.71(3年)/53.27(保護者) ※(3)-4 いじめ・不登校等の問題の未然防止に重点を置き、早期発見・早期対応に努めた。100.00(教職員) ※(3)-5 いじめを許さない集団づくりと不登校生徒が生じない環境づくりに取り組んだ。100.00(教職員)

	※(3)-11 生徒一人一人の特性に応じた生徒指導をした。100.00(教職員) (3)-6 学校は、困り感のある生徒に対して、スクールカウンセラーなどとの教育相談を行っている。90.12(1年)/92.31(2年)/91.21(3年) ※(3)-5 学校は、欠席が多かったり、集団での生活に困難さを感じている生徒に対し、その生徒に応じたきめ細かい支援を行っている。47.24(保護者) ※(3)-6 学校は、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーをはじめ、行政・他機関等の連携を大切にしている。64.82(保護者) ※(3)-6 長期欠席者等の生徒に応じた「個別の支援計画」を作成し、きめ細かい支援を行った。95.24(教職員) ※(3)-7 ケース会議等を通して、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教職員、関係機関等と連携・協働し組織的な支援体制の構築を図った。95.24(教職員) (3)-8 道徳の時間で扱われる内容は、自分の生き方を考える内容のものとなっている。95.06(1年)/94.23(2年)/94.51(3年)/68.84(保護者)/95.24(教職員) (3)-9 道徳の時間は、自分をいろいろな立場や場面に置き換えて、考えたり議論したりする場面がある。95.06(1年)/96.15(2年)/94.51(3年)/77.39(保護者)/90.48(教職員) (3)-11 あなたの学級では、お互いを認め合ったり学び合ったりしている。88.89(1年)/91.35(2年)/93.41(3年)/67.34(保護者)/100.00(教職員) ※(3)-13 発達支持的生徒指導の充実を図るため、生徒の多様性を認め合う魅力ある学校づくりに努めた。95.24(教職員) (3)-12 学校は、生徒が自発的・主体的に自らを成長させることができる場になっている。88.89(1年)/95.19(2年)/69.85(保護者) (3)-13 自分たちで考え、自分たちの力で取り組む生徒会活動が進められている。95.06(1年)/96.15(2年)/91.21(3年)/73.87(保護者)/100.00(教職員) (3)-14 自分にとって、部活など学校の活動において、楽しみややりがいのある活動がある。95.06(1年)/93.27(2年)/94.51(3年)/83.42(保護者)/100.00(教職員) (3)-16 読書活動や文化芸術活動、美化活動等によって、学校がうるおいのある場所になっている。88.89(1年)/89.42(2年)/63.82(保護者) (3)-17 校外学習や総合的な学習等で、人や文化・自然と関わることで、自分の心が豊かになる。91.36(1年)/95.19(2年)/92.31(3年)/80.40(保護者)/90.48(教職員) (3)-18 困った時や悩みがある時に SOS の出し方を知っている。87.50(2年)/75.88(保護者)
肯定的な回答の割合が低い	(3)-2 学校は、ネット上のいじめ防止など、情報モラル教育を行っている。84.62(3年)/62.31(保護者) (3)-3 学校はいじめや暴力行為がなく、安心して生活できる。77.78(1年)/ (3)-4 学校には、誰にとっても居場所がある。82.42(3年)/ (3)-7 学校は、生徒やその家庭の貧困やヤングケアラーの問題解決に取り組んでいる。83.95(1年)/78.85(2年)/83.52(3年)/64.82(保護者)/90.48(教職員) (3)-10 学校は生徒一人一人に応じた生徒指導をしている。76.54(1年)/83.65(2年)/81.32(3年)/62.81(保護者) (3)-12 学校は、生徒が自発的・主体的に自らを成長させることができる場になっている。84.62(3年)/ (3)-15 「きずなの日」の意味や役割を知っている。45.68(1年)/51.92(2年)/51.65(3年)/46.23(保護者)/23.81(教職員) (3)-16 読書活動や文化芸術活動、美化活動等によって、学校がうるおいのある場所になっている。83.52(3年)/80.95(教職員) (3)-18 困った時や悩みがある時に SOS の出し方を知っている。81.48(1年)/74.73(3年)/76.19(教職員)
今後は	いじめや暴力行為がなく、誰にとっても安心して生活できる居場所がある学校づくりに取り組み、成果が表れています。また、長期欠席者への取組も改善されつつあり、成果も見えつつあります。公立中学校としての役割をしっかりと理解し、できることを最大限進めていく努力を怠らないようにしたいと思います。生徒指導上の課題は多岐にわたり、個々の生徒の様子を丁寧に見ていく必要があります。さらに家庭環境なども考慮していかなければなりません。今後も他機関との連携を深め、あらゆる手段を取れるような体制をつくっていく必要があります。考え議論する道徳をはじめ、一人一人に応じた生徒指導、自分たちの力で取り組む生徒会活動によって、お互いを認め合ったり、学び合ったりする環境がつくられています。ただし、こうした活動の具体的な事例について、保護者への情報提供が足りない面があります。「きずなの日」の意味も含め、学校の教育活動を丁寧に保護者に伝えていく必要があります。部活動地域移行が進む中、学校の教育活動を見直していく必要もあります。
(4)	健康でたくましい体の育成／体力の向上と健康教育の充実に努める。
肯定的な回答の割合が高い	(4)-2 保健体育の授業や体育的行事、部活動は、自分の体力の向上につながっている。92.59(1年)/96.15(2年)/96.70(3年)/91.46(保護者) ※(4)-1 保健体育や体育的行事、部活動等の充実を通して、運動習慣を定着させ、朝食接種、十分な睡眠等、望ましい生活習慣の定着を通じて体力の向上を図った。100.00(教職員) (4)-3 体力テストの結果が授業や体育的活動に生かされている。88.46(2年)/90.48(教職員) (4)-4 「食」や「生活の安全」について学ぶことが「心身の健康の保持増進」につながることを理解している。95.06(1年)/96.15(2年)/89.01(3年)/74.87(保護者)/85.71(教職員)

	(4)-5 給食をはじめ家庭や家庭外での食生活では、食育を意識している。90.12(1年)/89.42(2年)/90.11(3年)/76.88(保護者)/ ※(4)-4 「食育推進一校一実践」及び食育の推進に努めた。76.19(教職員) (4)-6 学校は、新型コロナやインフルエンザなどの感染症に対して、感染が広がらない対応を取っている。91.36(1年)/94.23(2年)/85.71(3年)/72.86(保護者)/ 100.00(教職員) (4)-7 自分は、健康観察や換気、手指消毒、手洗い、3密の回避等、「新しい生活様式」として常に意識して生活している。85.58(2年)/89.01(3年)/82.91(保護者)/95.24(教職員) (4)-8 感染症対策も取りつつ、行事や部活動などは充実した活動ができています。92.59(1年)/97.12(2年)/91.21(3年)/88.44(保護者)/ 100.00(教職員)
割合が低い	(4)-1 自分は、生活リズムが整えられていて、規律ある生活習慣が身についている。74.07(1年)/75.96(2年)/78.02(3年)/74.87(保護者) (4)-3 体力テストの結果が授業や体育的活動に生かされている。82.72(1年)/84.62(3年)/ ※(4)-3 体力テストの結果について学校から説明があった。39.20(保護者) (4)-7 自分は、健康観察や換気、手指消毒、手洗い、3密の回避等、「新しい生活様式」として常に意識して生活している。79.01(1年)
今後は	規律ある生活習慣の指導をはじめ、保健体育の授業や部活動、食育や生活安全についての学習によって、自身の体力向上や心身の健康増進につながっていることへの理解が進んでいます。引き続き、家庭と連携して生徒の体力と健康の増進に取り組む必要があります。体力テストの家庭へのフィードバックについては今後改善していきます。コロナ等の感染症対策については、まさに新しい生活様式であるので、日常の指導は継続的に行っていく必要があります。部活動の意義は高く認められているので、地域移行に向けて、質を落とさず活動を続けることも考えていきたい。

(5) 一人一人のニーズに応じた特別支援教育の充実／自立・社会参加に必要な資質の育成に努める。	
割合が高い	(5)-1 学校は、将来生徒一人一人が自立し社会に参加できるよう、個々に必要とする支援をしている。85.19(1年)/90.38(2年)/89.01(3年)/95.24(教職員) (5)-2 校内委員会のもと、全校的な教育支援体制を確立し、多様な学びの場(通常の学級・通級による指導・特別支援学級)における教育の充実に努めた。95.24(教職員)
割合が低い	(5)-1 学校は、生徒一人一人が必要とする支援をしている。57.79(保護者) (5)-2 学校の特別支援学級や通級指導教室などでは、生徒の実態に応じた適切な教育課程や指導形態を工夫し、一人一人を伸ばす指導と評価に努めている。46.23(保護者) /95.24(教職員) (5)-3 学校の特別支援学級や通級指導教室は、支援計画や指導計画に沿って切れ目のない支援に努めている。42.21(保護者)/95.24(教職員) (5)-4 学校は、特別な教育的支援を必要とする生徒への適切な指導と配慮に努めている。45.73(保護者) 95.24(教職員)
今後は	生徒一人一人が必要とする支援や一人一人を伸ばす指導と評価が図られています。また、通常学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする生徒への適切な指導も行われています。通級指導教室の効果的な利用も進んでいます。ただし、特別支援教育の趣旨や内容について、保護者への説明や情報提供は不足しています。PTA行事や学校開放日などを通じて、またお便り等を通じて、積極的に情報提供を進めていく必要があります。小中学校は、基本的にはインクルーシブを進めるべきであり、集団の中で効果的な学びを仕組んでいく必要があります。専門機関や専門家の意見もいただく中で、教職員が指導支援の技量を上げていく必要があります。

(6) 安全・安心な教育環境の整備／生徒の危機管理意識を高め、安全管理体制の拡充に努める。	
肯定的な回答の割合が高い	(6)-1 生徒の危機管理意識を高め、安全管理体制の拡充に努めた。100.00(教職員) (6)-1 子供たちは、交通ルールやマナーの遵守、あいさつの励行、言葉づかい等、社会的ルールやマナーを意識して守っている。83.92(保護者) ※(6)-2 安全教育を計画的に実施し、生徒の危機管理意識の向上に努めた。100.00(教職員) (6)-2 防災訓練や避難訓練は、いざという時の行動に役に立っている。85.19(1年)/92.31(2年)/94.51(3年)/72.86(保護者)/100.00(教職員) (6)-3 学校は、施設や設備が整備されていて安全である。95.06(1年)/94.23(2年)/100.00(3年)/74.37(保護者)/ 100.00(教職員) (6)-4 先生は、安全や安心について丁寧に指導している。91.36(1年)/98.08(2年)/91.21(3年)/74.87(保護者) (6)-5 学校安全に関する校内研修を実施し、教職員の対応能力や指導力の向上に努めた。85.71(教職員)
割合が低い	(6)-1 自分は、日頃から大地震や台風などによる自然災害が起きた場合どうするかシミュレーションしている。69.14(1年)/76.92(2年)/75.82(3年) ※(6)-2 我が家では、日頃から家族で大地震や台風などによる自然災害が起きた場合の対応を確認している。71.36(保護者)

今後は	防災訓練や避難訓練など安全教育を計画的に実施することで、生徒の危機管理意識が高まっています。施設や設備の整備も進み安全性も保たれています。しかし、災害の備えは引き続き丁寧に取り組んでいく必要があります。阪神淡路大震災から30年、東日本大震災から14年の月日が流れ、記憶が薄れていくばかりか、そのことすら知らない子どもたちが増えていくと考えられます。不用意に危機感をあおめるのではなく、正しい知識や行動を教える教育活動の必要性は感じます。日頃からの災害に対するシミュレーションについては、今後より実践的な訓練や学習を進めていく必要があります。また、地域や家庭との連携をより強化して、地域の防災力の向上を目指す必要も感じます。
(7)	家庭・地域に信頼される学校づくりの推進／家庭・地域との連携を強化し、開かれた学校づくりを推進する。
肯定的な回答の割合が高い	(7)-1 学校は、地域から大切にされていると感じる。93.83(1年)/97.12(2年)/91.21(3年)/85.93(保護者) (7)-2 学校は日々の生活や行事・活動(生徒会や部活動も含めて)について、その都度反省し課題を明らかにしている。88.89(1年)/93.27(2年)/90.11(3年)/95.24(教職員) (7)-3 学校は、保護者や地域、関係機関等との協力を大事にしている。87.65(1年)/96.15(2年)/91.21(3年) 85.93(保護者)/95.24(教職員) ※(7)-3 学校の諸課題の解決にむけて、保護者・地域・関係諸機関等との緊密な連携を図った。95.24(教職員) (7)-4 自分は、地域の行事等に参加できる体制があるので、地域行事に進んで参加している。91.35(2年)/90.11(3年)/70.35(保護者)/95.24(教職員) (7)-5 学校での様々な活動や成果については、各種たよりや通知等(ホームページやマチコミを含む)で家庭に知らされている。96.30(1年)/95.19(2年)/87.91(3年)/86.93(保護者)/100.00(教職員) (7)-6 自分は、学校の良い所や、地域の良い所や誇れるものを知っていて、それを生かしたいと思っている。87.65(1年)/87.50(2年)/89.01(3年) (7)-6 学校運営協議会(CS)の効果的な活用を進める中で、地域の人的資源・物的資源を開発しながら、地域の方々の力と知恵を有効活用した。100.00(教職員) (7)-7 『ふるさと山梨』の活用や地域との連携等により、郷土に関する学習を推進した。85.71(教職員)
割合が低い	(7)-2 学校評価は、学校改善・信頼される学校づくりに効果的な活用がなされている。61.81(保護者) (7)-4 自分は、地域の行事等に参加できる体制があるので、地域行事に進んで参加している。82.72(1年)/ (7)-6 「地域とともにある学校づくり」をめざす、コミュニティ・スクールの趣旨を理解している。58.29(保護者)
今後は	学校が地域から大切にされていると感じたり、保護者や地域、関係機関等との協力を大事にしていることがよく理解されています。学校の教育活動を広く公開している成果が感じられます。各種便りやマチコミ、ホームページ等で学校の様子をお知らせしていますが、今後も引き続き積極的に取り組んでいく必要があります。学校評価やコミュニティ・スクールについては、保護者や地域にわかりやすい活動や取組の工夫をしていく必要があります。今年度の成果としてCSの活動が広がってきました。サポーターの登録や活用などを進め、地域との連携・協働を充実させていきたいと思ひます。

◎アンケート集計のまとめ 全体的な傾向

①生徒のアンケートについては、肯定的回答の割合が3つの学年で85%を超えていました。学年による格差はほとんどありませんでした。全体的な傾向は悪いわけではありませんが、1割以上の生徒が肯定的な回答をしていないことになります。引き続き、積極的な働きかけが必要です。 ②質問項目で回答しづらい、あるいは分からない項目もあったと考えられます。年度当初の目標設定とアンケート内容については、さらに吟味していく必要があると思います。今年度評価が低かった項目について重点として目標を設定し、取り組んでいくことが望ましいと思います。 ③保護者のアンケートについては、forms を使いましたが、回収率が7割弱でした。昨年度が半数でしたのでより多くの保護者の評価と意見をいただくことができました。全員のアンケートが必要であるとは思いますが、保護者が回答しやすい、分かりやすい質問内容を考えていく必要があります。 ④保護者アンケートの肯定的回答の割合は平均で65%を超えていますが、生徒の回答と比べるとずいぶん低くなっています。ただし、「わからない」という回答も15%程度あるので、70%を超えている項目は、比較的良好な評価であると言えます。「わからない」の回答が少なくなるよう、学校教育活動の保護者への情報共有をさらに進めていく必要があります。 ⑤保護者の自由記述については、厳しいご意見をたくさんいただきました。まだまだご理解が進んでいない教育活動も多くなっています。保護者との協働を積極的に進める必要があります。学校教育活動は、保護者・地域とともに進めることが当たり前になるように学校として努力を続けたいと思ひます。 ⑥教職員の働き方改革、あるいはコロナ禍での活動制限によって、学校と保護者の距離が離れてしまっていました。当然、必要な改革ではあるけれど、生徒、保護者にとって最善の活動をしていくべきだと思ひます。令和6年度には、学校の教育活動の積極的な保護者・地域への公開をしてきました。また PTA 組織の見直しや負担軽減を進める中、より有意義な活動をつくりだすことができました。学校だよりの地区回覧やHPからの積極的な情報提供をしてきました。しかし、まだまだ不十分であり、今後も積極的に進

めていく必要があります。学校開放日等の設定によって、保護者や地域の方々が自由に学校を訪問できることは可能になっていますが、一方で、保護者同士が集まって相談したり話し合ったり、悩みを共有したりという機会がほとんどありませんでした。学校への理解を深め、教育活動をより円滑に充実させるためには、そういう場の設定が必要になります。PTAの意見をしっかりつかみ、ともに歩んでいけるようにしたいと思います。学校は、地域のためにあります。本当の意味で、生徒や保護者のための学校になっていかなければならないと思います。

学校評価のまとめ

学校評価の進め方やまとめ方については、今年度は不十分な対応となってしまいました。目標設定については、学校運営協議会等で承認されていますが、PTAには説明のみで、意見をいただく場面がありませんでした。当然生徒についても、あらためて学校の経営方針等について説明する場面はありませんでした。次年度は、これから学校がどういう方向に進むのかということを、生徒・保護者、地域の皆様と話し合いながら、一体となって決め、活動を進めていく必要があると思います。

今年度は、PTA・生徒活動後援会合同役員会やCSの機能が高まっています。年4回のそれらの会議で、より短いスパンの成果と課題を明らかにし、次のスパンに生かせるような仕組みづくりもしていけたらと思います。

今回の学校評価のアンケートを活用し、さらに改善を図り、保護者の信頼と協力を得ながら、「信頼される学校」を目指して、よりよい教育活動を進め、生徒の成長を促していきたいと思います。